

令和5年度 第3回 浜松市立北浜小学校運営協議会 会議録（要点記録）

- 1 開催日時 令和5年11月30日（木） 14時30分から15時50分まで
- 2 開催場所 浜松市立北浜小学校 ほっとルーム（会議室）
- 3 出席委員 鈴木 澄子、秋山 順一、齋藤 千朝、熊谷 三郎、鈴木 崇之
- 4 欠席委員 なし
- 5 オブザーバー 鈴木 雄介（北浜南部協働センター）
- 6 学 校 太田 秀子（校長）、定盛 俊孝（教頭）、佐々木 麻美（教務主任）
古橋 佳代（CS ディレクター）
- 7 教育委員会 鈴木 陽子（教育総務課）
- 8 傍 聴 者 なし
- 9 会議録作成者 CSディレクター 古橋 佳代

10 議長の選出

議長の選出について委員に意見を求めたところ、本日は齋藤委員が務める旨の発言があり、協議の結果、全員異議なくこれを承認した。

11 協議事項

- （1） 今後の学校応援団について
- （2） 学校の抱える課題と改善策
- （3） 1学期学校評価アンケートの結果と考察
- （4） 学校評価アンケートの項目の検討

12 会議記録

司会者から、委員総数5人のうち5人の出席があり、過半数に達しているため、会議が成立している旨の報告があった。

（1）学校応援団について

議長の指示により、学校支援コーディネーターから別紙資料に基づき説明があり、委員からは以下の発言があった。

- ・現在、学校応援団に登録していただいている方を整理してみると充実している。
ボランティアの登録数を増やすよりも、今登録している方に如何に参加していただくようにするかを考える方がよい。（鈴木澄子委員）

- ・校長・教頭に声を掛けてもらえるとやりがいを感じる方が多いため、率先して話し掛けていただけると皆さんも喜ぶと思う。SNS を活用することに対して抵抗がある方もいる。その場合には、別の方法により情報が行き渡るようにしてほしい。（秋山委員）
- ・ボランティアを必要とする先生自身が、名簿等活動の様子などを見て、自分で直接人選して依頼する方法があってもよいのではないか。（齋藤委員）
- ・年度始めに学校応援団に登録している方を対象にオリエンテーションを開き、SNS を活用して、すぐに個別に連絡できるシステムをつくるのが理想である。（教頭）
- ・草刈りや読み聞かせなど継続的に支援していただいている。これからも、子供たちに寄り添った支援をしていただけると大変助かる。（校長）
- ・来年度、学校応援団として新1年生の給食支援を行う方向で進めた方がいい。（委員一同）

（２）学校の抱える課題と改善策

議長の指示により、校長より別紙資料に基づき説明があり、委員からは以下の発言があった。

- ・子供たちが安心して学校生活を送ることが大事ではあるが、教員が安心して授業に集中できる環境もつくりたい。子供たちは色々な面で経験不足になっているが、子供たちが主体となって企画し、児童会活動等を盛んに行っている。（校長）
- ・ボランティアに登録している人の中には、専門的知識がある人がいるかもしれないが、活動に対して負担が大きいことを依頼するのは難しい。（鈴木澄子委員）
- ・自分を出せない控えめな子が自信を持てなくなるようなことがないように、これからも活動を企画する際には、配慮が必要である。（鈴木崇之委員）
- ・すぐに成果を求めるのではなく、子供たちの成長過程にあわせて地道に進めることができればよい。（熊谷委員）

（３）1 学期学校評価アンケートの結果と考察

議長の指示により、教務主任より別紙資料に基づき評価アンケートについて説明があり、委員からは以下の発言があった。

- ・児童、保護者、教員共に挨拶、規則正しい生活を送ることができていないと感じてようだ。（教務主任）
- ・挨拶がしっかりできる子とできない子の差が大きいのではないだろうか。（委員一同）

（４）学校評価アンケートの項目の検討

議長の指示により、別紙資料に基づき学校評価アンケートについて、説明があった。

- ・保護者・教員については、さくら連絡網を使用して、児童はタブレットにて設問する。

（教頭）

その他報告事項等

司会から、次回会議は令和6年2月14日（水）午後14時30分から北浜小ほっとルーム（会議室）にて開催する旨の報告があった。